

項目	21世紀にふさわしい県民と森林の関わりの構築	NO	2-3
事業名	やまがた絆の森プロジェクト推進事業		
事業費	1,121 千円	担当部局課	環境エネルギー部 みどり自然課

## 1 目的

- ① 県民参加の森づくり活動の取組みの一つとして、企業・団体、森林所有者と協定を締結して、森林の保全と活用に取り組み、参加者の拡大と森林によるCO2吸収減対策を推進する。
- ② 里山の資源を高度に活用した地域交流を促進することで、里山地域の活性化を図る。

## 2 事業概要

- ① やまがた絆の森【企業の森づくり】
  - ・ やまがた絆の森協定

県がコーディネーターとなり、企業と森林所有者とのマッチングや、森づくり活動をサポートし、地域交流や里山資源の利活用による地域活性化を推進

(絆の森協定締結企業 32社・27地区)
  - ・ やまがた絆の森パンフレットの作成

各企業・団体による森づくり活動の内容などを紹介したPRパンフレットを作成・配布1,000部
  - ・ 森づくりセミナー&活動報告会の開催

森づくりや環境・社会貢献等の有識者を講師に招き、セミナー(講演会)を行い、やまがた絆の森協定締結企業による森づくり活動の成果を広く周知し、新規企業の開拓を図る。
  - ・ 山形県CO2森林吸収量認証制度

企業・団体が行った森づくり活動の見える化を行うため、整備した森林のCO2吸収量を評価して認証する。

## やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成 28 年度やまがた絆の森プロジェクト推進事業の取組事例】

### やまがた絆の森 企業の取組み

#### おーばん 琴の森

(平成 28 年 5 月 28 日開催 株式会社おーばん)



記念植栽



リースづくり



記念撮影

#### おかさき みはらしの丘未来の森

(平成 28 年 6 月 5 日開催 岡崎医療株式会社)



作業前の打合せ



刈り払い作業



作業終了後記念撮影

#### シェルター絆の森

(平成 28 年 6 月 25 日開催 株式会社シェルター)



森づくりのリレー



施肥



作業後記念撮影

項 目	21世紀にふさわしい県民と森林の関わりの構築	NO	2-4
-----	------------------------	----	-----

事業名	生物多様性戦略推進事業		
事業費	4,180 千円	担当部局課	環境エネルギー部 みどり自然課

## 1 目 的

森林生態系を始めとする自然環境について、総合的なモニタリング調査を実施して、早期に異変等を把握し、必要に応じて保全対策を実施し、「多様な生態系を育む、みどり豊かな山形」を未来に継承していく。また、調査結果等を蓄積するとともに、広く県民に情報提供を行い、生物多様性の保全と持続可能な活用に向けた意識の醸成や普及啓発を実施する。

## 2 事業概要

### (1) 自然環境現況調査

- ・ 森林を取り巻く自然環境の異変等を早期に察知するため、動植物の生育・生息動向などの自然環境の変化を継続的にモニタリングするもので、県内の「生態系」毎の調査を実施する。

### (2) ブナ・ナラ豊凶調査

- ・ 県内30箇所の調査サイトについて、動物の生息・生育動向に大きな影響を与えるブナ等堅果類の豊凶について継続した調査を実施する。
- ・ 秋季の森林環境の異変と動物の出没動向に影響する「山の実り」を把握するため、関係者に対するアンケート調査を実施する。（山の実り調査）

### (3) 希少野生生物分布調査

- ・ 絶滅危惧種等を取りまとめた山形県レッドリスト、レッドデータブック（動物版）の改訂や保全対策に活かすため、県内における希少野生生物の分布・生息状況の調査を実施する。（平成28年度は哺乳類、両生類、爬虫類等の調査を実施）

### (4) 森林生態系モニタリング事業

- ・ トウヒツヅリヒメハマキによる森林被害発生後の蔵王地域の森林生態系をモニタリングし、森林生態系の推移や病虫獣害の防除法の調査・森林の更新手法の検討を行う。

### (5) 自然環境モニタリング総合検討委員会の開催

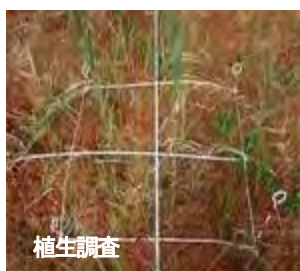
- ・ 自然環境モニタリング調査の方法の検討や結果の分析、対策の検討を行うため、専門家等で構成する自然環境モニタリング総合検討委員会を開催する。

やまがた緑環境税を活用した取組み  
〔平成28年度生物多様性戦略推進事業の取組状況〕

自然環境現況調査  
(自然環境や希少野生生物の現況調査)



水生昆虫の捕獲調査



植生調査



山岳地の踏査



前年度調査 → 保全対策の事例  
(希少植物の埋土種子の探索)

ブナ・ナラ豊凶調査  
【県内30箇所】



雄花等回収トラップ



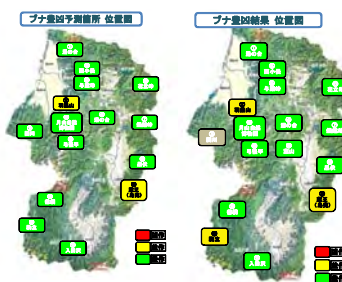
ブナの雄花

果実

HPで情報発信



ブナ豊凶予測と豊凶実績



自然環境モニタリング総合検討委員会



調査の手法や実施箇所等の見直しについて検討等を行う。

希少野生生物分布調査

絶滅のおそれのある野生生物について取りまとめた山形県レッドリスト、レッドデータブック(動物版)の改訂や保全対策に活かすため、県内における希少野生生物の分布・生息状況調査を行う。

やまがた緑環境税を活用した取組み  
【平成 28 年度鳥獣保護管理法推進事業の取組事例】

1. ツキノワグマ生息状況調査



カメラトラップ作業状況



カメラトラップ設置完了

2. 里山に出没する大型野生鳥獣生息動向調査



カメラ設置状況



ニホンザル



ニホンカモシカ

項目	21世紀にふさわしい県民と森林の関わりの構築		NO	2-6
事業名	野生鳥獣捕獲体制強化支援事業			
事業費	221 千円	担当部局課	環境エネルギー部 みどり自然課	

## 1 目的

森林生態系の構成要素である野生動物の保護管理を担う狩猟者を育成するため、狩猟免許試験受験予定者向け講習会を実施する。

## 2 事業概要

狩猟免許受験予定者に対し、鳥獣保護管理法、わな・猟銃等の技能、野生鳥獣との共生の意義等について、事前に理解を深めてもらうための狩猟免許試験受験予定者向け講習会を開催。

やまがた緑環境税を活用した取組み  
【平成 28 年度野生鳥獣捕獲体制強化支援事業の取組事例】

狩猟免許試験受験予定者向け講習会

平成 28 年 6 月 16 日庄内会場(47 名参加)の実施状況



平成 28 年 8 月 7 日置賜会場(88 名参加)の実施状況



平成 28 年 8 月 11 日村山会場(153 名参加)の実施状況



項目	21世紀にふさわしい県民と森林の関わりの構築		NO	2-7
事業名	大型鳥獣等野生復帰事業			
事業費	1,423 千円	担当部局課	環境エネルギー部 みどり自然課	

### 1 目的

人と自然が共生する森づくりの一環として、森林生態系を支える多様な野生鳥獣の保護のため、傷病等で救護又は捕獲された大型鳥獣の野生復帰の総合的な治療訓練、移送、放鳥獣を行う。

### 2 事業概要

野生鳥獣の専門家（獣医師等）を擁する事業所に委託し、傷病等で救護又は捕獲された野生鳥獣を野生に復帰させる。

- ・ 県内各地で救護又は捕獲された野生鳥獣に対し、必要に応じて現場で治療を行い、地域住民等の協力を得て、安全な奥山等へ移送し放鳥獣する。
- ・ 県内の野鳥救護所及び野生獣類救護所で救護され、状態が落ち着いた野生鳥獣を救護所から引き受け、必要に応じて総合的な治療訓練を行い、安全な奥山等へ移送し放鳥獣する。



やまがた緑環境税を活用した取組み  
【平成 28 年度大型鳥獣等野生復帰事業取組事例】



救護した野生鳥獣の状況

項目	21世紀にふさわしい県民と森林の関わりの構築	NO	2-8
事業名	自然環境学習推進事業		
事業費	1,512 千円	担当部局課	環境エネルギー部 みどり自然課

1 目的

副教材や野外活動の手引き等の提供により、小学生等の森林や自然環境に対する理解の向上を図る。

2 事業概要

森林環境学習を実践するための副教材等の作成と提供

3 実施状況

- ① 副教材「やまがたの森林」、指導者用ガイドブック「やまがたの森林」解説編  
 小学校5年生の社会科の授業等で活用できるようにするため、森林と人とのかわりや森林の働き、身近にある森林として各地域の森林を紹介  
 ・ 副教材10,500部、ガイドブック1,000部を作成し、小学校5年生の全児童及び担当教諭等に配布（8月）
- ② ポケット版「森のたんけん手帳」  
 子供たちが森林に入って野外活動を実施する際の留意点や、五感を使って森林に親しむ遊び等をわかりやすく紹介  
 ・ 各みどりの少年団、4つの県民の森、各市町村、森林研究研修センター各総合支庁森林整備課、5つの少年自然の家等に配布（5月）  
 ・ その他要望等を受けて、適宜小学校や環境学習実施団体に提供

（副教材・ガイドブック）



（森のたんけん手帳）



項目	21世紀にふさわしい県民と森林の関わりの構築	NO	2-9-1
----	------------------------	----	-------

事業名	里山の森づくりサポーター育成事業		
事業費	184 千円	担当部局課	村山総合支庁 森林整備課

## 1 目的

多様化する県民の森利用者の要望に対応できる体制を構築するため、施設内の案内及び体験活動などを支援する指導者（以下、森の案内人）を新たに募集し、森の案内に必要な知識・技能に関する研修会を開催した。県民の森らしい森の案内人スキルの伝承のため、研修項目に「木育」を取り入れて実施する（10月専門研修として開催予定）。

## 2 事業概要

県民の森の安全で、かつ、楽しい活動の支援・案内ができるスキルを習得するため、次の項目について学ぶ。

### (1) 基礎研修

- ① 県民の森の概要
- ② 森林に関する基礎知識・森林の機能
- ③ 森林活動の安全管理及び緊急時の応急手当て
- ④ 森の案内の基礎知識と実践スキル
- ⑤ 木育概論

### (2) 専門研修

- ① 森の案内の実践実習
- ② 木育に関する知識と実践スキル

## 3 実施状況

- ・ 県民の森周辺市町から森での活動に興味のある県民が8名参加した。
- ・ 今回の研修会を通じ、「県民の森」森の案内人として登録される見込み。

項目	21世紀にふさわしい県民と森林の関わり構築	NO	2-9-2
----	-----------------------	----	-------

事業名	最上の自然環境教育マスター養成事業		
事業費	355 千円	担当部局課	最上総合支庁 森林整備課

## 1 目的

- ① 多様化する自然環境教育活動の指導者の養成
- ② 若年層の人材育成による指導者層の充実
- ③ 高齢者の経験と智恵を活かし、次世代に引き継ぐ担い手の育成

## 2 事業概要

- ① 「養成講座」の開催
  - ・ 春、秋、冬の年3回。春、秋は各2日、冬は1日の講座を開催する。  
場 所：山形県遊学の森(金山町)  
対象者：一般県民で自然環境教育に関心がある方  
受講者：春の講座 5月21、22日開催 19名参加。  
秋の講座 11月5、6日開催予定。  
冬の講座 H29年2月開催予定。
  - ・ 養成講座終了後に、自然環境教育マスターとしての自覚を促すため「森のマスター養成講座修了証」を発行する(冬の部は除く)。今後の活動につなげるため「遊学の森“森の案内人”」への登録を依頼する。
  - ・ 登録者には、遊学の森で開催される自然環境教育、森づくり活動の案内や情報の提供を行っていく。
- ② 養成講座に関する普及啓発の実施
  - ・ チラシ等による普及啓発  
多くの方々から養成講座に参加していただくため、総合支庁をはじめとする県の機関や市町村ロビーなど、県民の目にふれる場所にチラシを設置し、広く周知する。
  - ・ 森づくり活動団体及び教育機関等への周知  
即戦力として期待される人材を有する森づくり活動団体へ当講座の参加を要請する。また、次世代の指導者を育成するため、高校生や農林大学校へも積極的な周知を図る。

## やまがた緑環境税を活用した取組み

【最上の自然環境教育マスター養成事業の取組事例】



春の山野草講座



野外活動における緊急処置法



春の山野草講座



積木で生態学?



アイスブレイキング



ネイチャーゲーム

自然環境教育マスター養成講座を、春、秋、冬の3回開催する。春の講座は5月に開催し、動植物の基礎知識、ネイチャーゲームの活用法、野外活動における緊急処置法などについて学んだ。秋の講座は11月、冬の講座は2月に開催する予定。 【会場：遊学の森（金山町）】

項 目	21世紀にふさわしい県民と森林の関わりの構築	NO	2-9-3
-----	------------------------	----	-------

事業名	みんな一緒に森林活動フィールド振興事業		
事業費	338 千円	担当部局課	置賜総合支庁福祉課

## 1 目的

- ① 障がい者が身近に気軽に森林体験活動のできる森林活動フィールドが、高齢者や児童に対象を広げて応用できることを実証する。
- ② 森の案内人（ボランティア・インストラクター）のスキルアップと経験の充実を図る。

## 2 事業概要

- ・ 森林体験活動を実施する施設等において活動するボランティアやインストラクターのスキルアップのための研修の実施
- ・ 平成26年度までの事業で掘り起こした活動場所において森林体験活動を実施し、受け入れ側のスキルアップや潜在リスクの発見を図る。

## やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成28年度みんな一緒に森林活動フィールド振興事業の取組事例】

- 1 介助案内研修・・・5/31 源流の森（飯豊町）で開催  
・講義及び実地研修 参加者 30 名



- 2 森林体験活動・・・6/16 実施、10月に1回開催予定  
・6/16 下小松古墳群（川西町） 参加者 59 名



- ・10月 横根の森（小国町）予定

項目	21世紀にふさわしい県民と森林の関わりの構築	NO	2-9-4
----	------------------------	----	-------

事業名	おきたま森林・自然環境学習推進事業		
事業費	518 千円	担当部局課	置賜総合支庁 森林整備課

## 1 目的

- ・ 源流の森における森づくり活動などの支援を行う人材（源流の森「森の案内人」）の養成。
- ・ 企業や団体及び一般県民が気軽に参加できる森づくりを推進するため、源流の森内における森づくり活動の条件整備。

## 2 事業概要

源流の森の新たな森づくり活動推進事業（継続）

### ○ 源流の森「森の案内人」養成講座の開催。

- ・ 2日間の総合講座を1回（6月）、1日間の総合講座を2回（9月・10月）開催する。

場所：山形県源流の森（飯豊町）

対象者：森づくり活動などに興味があり、源流の森にてボランティア活動が可能な方。

養成講座終了後に「修了書」を交付するとともに、「源流の森案内人」への登録を依頼。登録者には、源流の森で開催される自然環境学習や森づくり活動のサポートなどで活躍していただく。

### ○ 源流の森内の森林で、企業や団体、一般県民を対象とした植栽や刈払い、枝打ちなどの森づくり活動を実施するための活動の支援。

- ・ 植栽箇所の整備（地拵え）



## やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成28年度おきたま森林・自然環境学習推進事業の取組事例】

### 源流の森の新たな森づくり活動推進事業

飯豊町 源流の森



源流の森での森づくり活動などの支援を行う人材（源流の森「森の案内人」）を養成するため、総合講座（2日間）を1回開催した。また、専門講座（1日間）を2回開催する予定。受講生は、自然環境への理解や、ネイチャーゲーム、野外活動における救急処置法などを学んだ。

項目	21世紀にふさわしい県民と森林の関わり構築	NO	2-9-5
----	-----------------------	----	-------

事業名	出羽庄内公益の森づくり事業		
-----	---------------	--	--

事業費	606千円	担当部局課	庄内総合支庁森林整備課
-----	-------	-------	-------------

## 1 目的

庄内砂丘の海岸林は、厳しい自然との共生の中で培ってきた大いなる遺産であるが、現在、手入れ不足や伝染病である松くい虫被害、さらには、ナラ枯れの脅威にさらされている。この海岸林を、多様な主体の協働により保全し、後世に引き継ぐことを目的とし、下記の活動を実施した。

- ① 多様な主体の協働による海岸林の整備
- ② 住民参加の森づくり運動の推進と人材の育成

## 2 事業概要

### ① 多様な主体の協働による海岸林の整備

・出羽庄内公益の森づくりを考える会の開催…計画3回(うち1回実施済み)

海岸林は、民有林と国有林、普通林と制限林(保安林や自然公園等)、市町の行政界などの複雑な境界線が多く引かれ、管理主体や関係法律も多様である。

この「考える会」では、関係する多様な主体(行政団体、教育機関、林業関係団体、住民団体等)がネットワークを組み、課題を共有し、統一した方針のもとに連携して、協働による砂丘林の保全活動を実施するために、情報・意見交換の場として開催している。

### ② 住民参加の森づくり運動の推進と人材の育成

・森林ボランティア活動の支援…計画20回(うち14回実施済み)

光ヶ丘森林整備ボランティア、砂防林を育てよう森林整備ボランティア等の活動の企画・運営を行うとともに、JTの森鶴岡、ホンダカーズ山形 環境創造プロジェクト等大規模ボランティア事業等企業による森づくりに対する活動の指導と機材の貸し出し等の支援を行っている。

・ボランティアリーダーの育成…計画1回

貴重な松林を健全な状態で次世代に引き継ぐため、森林ボランティア活動における指導的人材の養成研修として、安全管理のためのリスクマネジメント等近年注目を集めている項目やボランティア団体からの要望に沿った項目を題材として「森林ボランティアリーダー研修」を開催する。

・森林環境教育の支援…計画40回(うち23回実施済み)

「地域ふれあい講座」等による海岸林の普及啓発、学習活動の支援として、保育園から大学にいたる各種学校等からの要請を受けて「庄内砂丘林について」等の講話による座学や、枝打ち刈払い等実地での森林整備作業に対する指導、ネイチャーゲーム等による森林環境教育等を行っている。

## やまがた緑県民税を活用した取組み 【平成28年度出羽庄内公益の森づくり事業の取組み事例】

### ① 多様な主体の協働による海岸林の整備

【出羽庄内公益の森づくりを考える会の開催】 協働による海岸林の保全のための意見情報交換:計画3回



意見情報交換



現地検討会



### ② 住民参加の森づくり運動の推進と人材の育成

【森林ボランティア活動の支援】 計画20回  
ボランティア活動の企画・運営、現地指導等

【ボランティアリーダーの育成】 計画1回  
ボランティア活動における指導的人材の養成研修



光ヶ丘森林整備



JTの森「鶴岡」

【森林環境教育の支援】 海岸林に関する講話、森林整備体験活動の指導等の実施:計画40回



酒田光稜高校生講義



酒田一中生 枝打ち体験活動